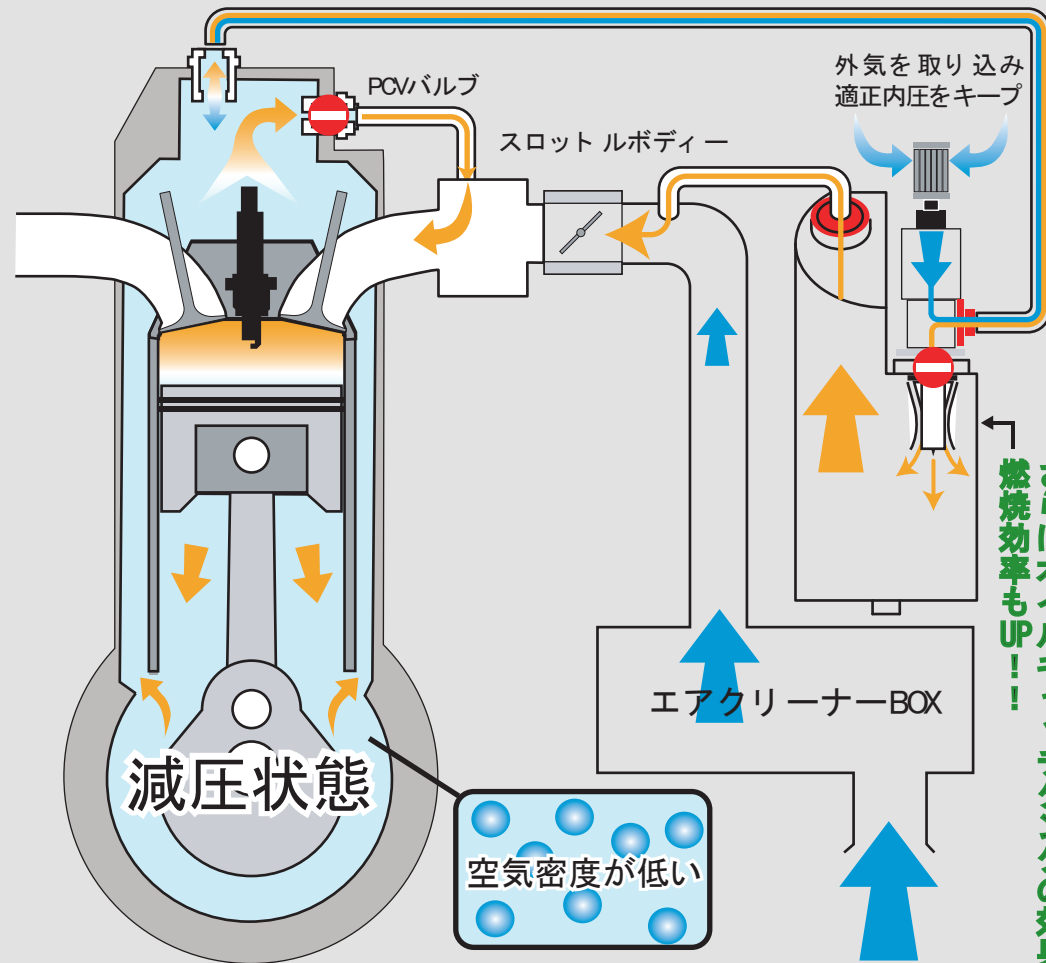
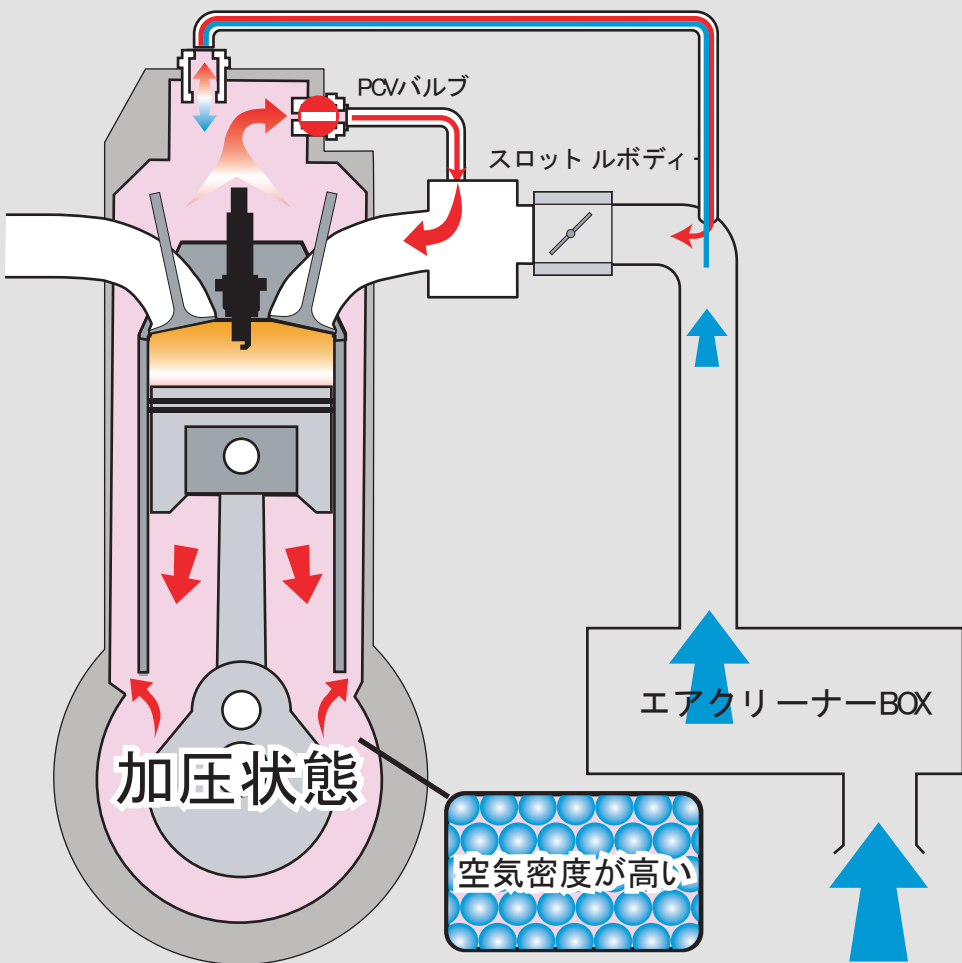


# T-REV α ビルトインキャッチタンク装着前・装着後のエンジン内の変化

非装着エンジン内圧 約-0.02kpa

装着エンジン内圧 約-10.00kpa



さらにオイルキャッチタンクの効果により  
燃焼効率もUP!!!

装着前エンジンは内圧が大気圧とほぼ同じですが、高速回転しているクランクシャフトやピストン等の空気の攪拌（かくはん）抵抗が大きく、ギクシャクやエンジンのもたつき等の原因にもなります。

装着後はT-REV α システムがエンジンの内圧を適正にキープ！！（約-10.00kpa）。エンジン内の空気密度を減らす事により、レスポンスUP・ギクシャク感も減り非常にマイルドなエンジン特性に変化します。

⇒ 一方通行（ワンウェイ）
 ⇒ 高圧状態の空気の流れ
 ⇒ 低圧状態の空気の流れ
 ⇒ 外気の流れ

